

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学法医学講座では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

研究課題名	福島県からみた遠隔地の法医解剖例における甲状腺癌の頻度
研究機関名	金沢医科大学法医学講座
研究責任者	金沢医科大学法医学講座 教授 水上 創
研究期間	倫理審査委員会承認後 ～ 2023 年 5月
対象者	2016年4月以降で、金沢医科大学法医学講座において法医解剖が行われた方。
当該研究の意義・目的	1986年のチェルノブイリ原子力発電所の事故後、ベラルーシ共和国の小児の甲状腺癌発生が増加しています。そのため、2011年の福島第一原子力発電所の事故後に小児甲状腺癌のスクリーニング検査が実施されています。現在、福島県立医科大学法医学講座において法医解剖例における甲状腺疾患についての研究が進められており、慢性低線量被曝の影響を検討するためには、福島県からみた遠隔地における甲状腺疾患の頻度を検証する必要があります。金沢医科大学法医学講座では石川県の主に能登地方における法医解剖を担当しており、能登地方は福島第一原子力発電所から約320～390 kmの距離にあることから、福島県とその遠隔地における甲状腺疾患の頻度を比較することが可能となります。
方法および研究で利用する試料・情報について	<p>方法：法医解剖時に摘出した甲状腺をホルマリン液で固定し、共同研究施設（福島県立医科大学法医学講座）へ提供します。固定された甲状腺を厚さ2～3mm間隔で矢状断に加割し、肉眼で観察する。病変が存在すればそれをすべて、なければ左右両葉から一切片以上を選択して検体とします。パラフィン包埋後、厚さ5μmに薄切し、ヘマトキシリン・エオジン染色を施行します。検体として選択しなかった切片もすべてパラフィン包埋し保管します。甲状腺腫瘍、腫瘍状病変の診断を行います。</p> <p>研究で利用する試料・情報 試料：金沢医科大学法医学講座における法医解剖例を対象とし、採取された甲状腺を検体とします。研究期間内に採取された甲状腺だけではなく、死因究明のために保存されている甲状腺も対象として、共同研究施設（福島県立医科大学法医学講座）へ提供します。 情報：剖検番号、年齢（1歳未満の場合は月齢あるいは日齢）、性別を用います。</p>
外部への資料・情報の提供	<p>共同研究施設（福島県立医科大学法医学講座）に提供する試料・情報は以下のとおりです。</p> <p>試料：金沢医科大学法医学講座における法医解剖例を対象とし、採取された甲状腺を検体とします。研究期間内に採取された甲状腺および死因究明のために保存されている甲状腺も対象とします。これらについて、共同研究施設の研究者担当者が金沢医科大学法医学解剖室で切出しを行い、パラフィン包埋組織を作成し、以後の観察に用います。</p> <p>情報：提供する情報は剖検番号、年齢（1歳未満の場合は月齢あるいは日齢）、性別であるが、提供を行うにあたり、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行い、対応表は、金沢医科大学法医学講座の個人情報管理者が保管・管理します。</p>

個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
研究代表施設・代表者	福島県立医科大学法医学講座 教授 黒田 直人
研究組織	福島県立医科大学法医学講座 教授 黒田 直人 福島県立医科大学法医学講座 講師 西形 里絵 福島県立医科大学法医学講座 医療技師 林王 真美 金沢医科大学法医学講座 教授 水上 創 金沢医科大学法医学講座 助教 小林 正宗 金沢医科大学法医学講座 助教 竹下 裕史
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 法医学講座 水上 創 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511（2211）内線（3913）

作成日： 2018年4月27日